



キクザキイチゲ

～美しい森林 元気な山村 頑張る岩北署～
を合い言葉として

署長 山田 和夫



雪解けもしばらく足踏みが続いていましたが、新たな年度を迎えて春の息吹を力強く感じる事ができるようになってきました。

昨年度は、国有林野の管理経営の形態が、特別会計による企業的事業運営の長い歴史に幕を閉じ、一般会計下での組織・業務遂行へと大きく転換したところです。

一般会計化2年目となる平成26年度においては、公益重視の管理経営の一層の推進、森林・林業の再生への貢献、東日本大震災からの復旧・復興への貢献、その実現のための各種事業の実施等を通じて地域振興へ寄与するという国有林に与えられた使命を、より目に見える形で着実に実行していくことが求められています。

岩手北部署においては、従前から「地域にとって、有って良かったと思われる森林管理署」を目指して、職員一人ひとりが幅広い分野において、地域の声に耳を傾けて地域の求めているものは何かをしっかりと把握し、地域のために何をすべきなのかよく考えながら業務に取り組んできました。

今年度も、①労働災害のない健康で明るい職場づくりの推進を第一としつつ、②低炭素化社会に向けた森林資源の整備、③林業再生に向けたトータルコスト縮減と木材の安定供給、④安全・安心な山村の実現に向けた防災対策の推進、⑤豊かで多様な森林資源を活用した地域振興への寄与を大きな柱として位置付け、馬淵川・米代川・北上川各流域の最上流部に位置する山村・林業を元気にして、森林の有する水源涵養、国土保全、地球温暖化防止、生物多様性の保全等の機能が高度に発揮される美しい森林づくりを推進していくこととします。

そのため、これまでの取り組みを振り返り、良かった点はさらに推し進め、反省すべき点は改善を図りながら、職場の和、元気を基本として林業マンとしてのスキルアップにも努めつつ、「地域のために」を第一に考えて行動する気持ちをさらに継続・発展させるとともに、関係する行政、団体、学校、事業体、ボランティア団体等も含めて、地域の皆様と様々な形での連携・協働の輪を広げ、地域振興への寄与、森林・林業再生への貢献に取り組んで参りたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。



平成26年度事業概要

販売事業	立木	主伐	81,952 m ³		林道事業	林道新設	4,075 m (2路線)
		間伐	5,486 m ³			維持修繕	200 km
		計	87,438 m ³			改良	1件 (93 m)
製品	30,300 m ³		調査設計	1件 (1,500 m)			
森林育成事業	直	請				計	
	地拵	0 ha				41.72 ha	41.72 ha
	植付	0 ha	47.19 ha	47.19 ha			
治山事業	下刈	0 ha	295.03 ha	295.03 ha	測定事業	巡検	72.0 km
	溪間工	5基		刈開		64.3 km	
	コンクリート谷止	2基		予備調査		55.1 km	
	鋼製スリット谷止	1基		巡視		635.2 km	
	本数調整伐	161.15 ha		平成25年度翌債を含む			



山火事に備えて消火器具点検を実施しました



消火ポンプでの訓練



ジェットシューターの点検

今年も『**全国山火事予防運動**』を呼びかけ、実施しています。

山菜採りなどの入山者によりタバコが原因の火災等も危惧されることから、署全体で山火事防止に積極的に取り組んでいます。

岩手北部森林管理署でも、消火器具の点検と使い方の訓練をおこないました。

山火事予防運動統一標語

守りたい 森の輝き 防火の心

山火事防止運動月間 平成26年3月1日～5月31日

お疲れ様でした
～定年退職者を囲んで～



- ・新町森林事務所 林本 佐市さん
- ・ ” 佐藤 福美さん

お世話になりました
～転任の皆さんを囲んで～



- ・葛西 貴仁さん 津軽森林管理署 次長
- ・松尾 亨さん 盛岡森林管理署 森林技術指導官
- ・久坂 浩志さん 岩手南部森林管理署 森林官
(煤孫担当区)
- ・福田 達胤さん 東北森林管理局保全課 保護係長

Thank You

へ転任されました。

お世話になります

新しく転任、新規採用された皆さんにお答えいただきました。
(1.出身地 2.趣味 3.血液型 4.マイブーム 5.皆さんに一言)

次長
谷藤 忠志さん



1. 秋田県秋田市
2. なし
3. B 型
4. なし
5. 4月1日の異動で治山課より当署にお世話になることになりました谷藤です。初めての業務ということで戸惑っておりますが早く職場になじめるようにして参りますので、よろしくお願ひします。
また、10年ぶりの単身赴任ということで家事についても非常に不安ですので、こちらにつきましてはご指導ご鞭撻のほどお願ひします。

森林官(兄畑担当区)
津嶋 龍輝さん



1. 秋田県大館市
2. パソコン(製造や改造)
機械整備(車や農機具)
3. O 型
4. もうすぐ3歳になる次男のスパルタ教育(三つ子の魂百まで)
5. 皆さんとてもフレンドリーで気兼ねなく話でき、とても安心しております。収穫調査方法の違い等、不明な点も多いことから、ご迷惑おかけすることも多々あるかと思いますが、一つひとつ確実にこなし、自らの肥やしにしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

森林官(浄法寺担当区)
小原 雅樹さん



1. 岩手県花巻市
2. 昔→旅行
今→ゴロ寝 & 缶ビール
3. A 型
4. ホームセンターめぐり
5. よろしくお願ひします。

総務グループ
塩谷 智也さん



1. 兵庫県加古郡播磨町
2. 将棋
3. A 型
4. 料理
5. 至らぬ点多々あるかと思いますが、皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

春を告げる魚



主任森林整備官(経営・ふれあい担当) 有本 実

春先に産卵のため沿岸に近づき人目に付きやすくなるため、春を告げる魚として有名な魚は「鱈(サワラ)」ですが、淡水魚にもまさに春を告げる使者の様な魚がいます。サクラが開花する頃に川に遡上してくる、その名もサクラマスです。写真①～⑥まで、様々な色・形・大きさの魚を載せましたが、実はこの6匹、全て生物学的には同一種の標準和名「サクラマス」です。今回はこの魚の少し変わった生態についてご紹介しましょう。

河川の上流域で孵化した稚魚は体の側面に小判型の斑紋がありますが、2年目の春、海に向かって下る時には体全体が銀色に輝きます(①)。気仙川下流の春の風物詩・ヒカリ釣りは、この降海途中の個体を狙うものです。一匹丸ごと天ぷらにして塩を振って食べると最高ですね。

そして海に出た個体は1年間小魚などを飽食し、丸々太って翌春、故郷の川に遡上してくるのです(②)。富山県名産の鱈寿司にも使われているこのサクラマスは、サケよりも脂の乗りが良い高級魚として扱われています。寄生虫がいるのでおすすめできませんが、刺身で食べると絶品です。今のところ私は大丈夫ですが、試したい方は自己責任でお願いします。

ここで面白いのは、サクラマスの中にも海に下る「降海型」と川に居残る「河川残留型」がいる、ということです。残留型がいわゆる「ヤマメ」と呼ばれるものです。体長24cm 前後の塩焼きに丁度良いサイズの子ヤマメ(③)は生まれてから3年目の個体が多く、年齢としては春先に遡上してくるサクラマスと同一年です。ヤマメは通常、源流部に生息するイワナよりも下流域を行動圏にしていますが、下北半島の大畑川ではどういわけか最上流部にヤマメが、その少し下流にイワナが生息しています。この特殊な分布を示すヤマメを「杉の子(④)」と呼び、最源流部は禁漁区が設けられ保護されています。こいつも刺身が旨いですね、イワナよりも舌触りがしっとり滑らかで柔らかい肉質です。

脱線しました、生態の話に戻しましょう。秋も深まり山が紅葉に染まる頃、サクラマスの体色も♀は黒っぽく(⑤)、♂は薄紅色に染まり(⑥)産卵期を迎えます。オスの婚姻色が桜色だからサクラマスと呼ぶようになった、という説もあります。さて、体長30cm を超えるのが稀なヤマメは小回りが利くので、縄張り争いには弱いものの、産卵場所をあまり選ばずに繁殖活動できる利点があります。一方でその2倍以上に大きく成長したサクラマスは、大きな淵などに産卵場所が限定されますが、縄張り争いに強く産卵数も多い、という利点があります。それぞれに欠点・利点がありますが、一体彼ら(彼女ら)はどの時点で、「俺は大海原に旅立ち大物になって帰ってくる!」「私は生まれ故郷でコツコツ地道に成長します」などと思いを抱くのでしょうか?

毎年春、サクラマスを狙って各地の川へ足を運びますが、釣りのターゲットとしてだけでなく、同一種でありながら同一河川内で全く違う行動パターンを示すこの魚の繁殖戦略に興味は尽きません。

① ヒカリ 19 cm <北上川水系猿ヶ石川>



② サクラマス 48 cm <安家川>



③ ヤマメ 24 cm <閉伊川水系薬師川>



④ 杉の子 24 cm <大畑川>



⑤ サクラマス♀ 38 cm <某所>



⑥ サクラマス♂ 37 cm <某所>

